

青雲の志

岩手県立花北青雲高等学校
校長通信 第51号
令和5年1月17日発行
文責 校長 佐々木 伸良

冬季休業中のアルバイト報告

初めてアルバイトを行い、働くことの大変さとお客様に感謝される喜びを知りました。また、時間意識や挨拶などの大切さも改めて感じる事ができました。いつもスーパーで買っているお惣菜を作る大変さを知り、これからは感謝していきたい。(1年C組)

年末年始は、沢山のお客さんが来店し、品出しがとても忙しくて大変でした。社員の皆さんが優しく仕事の進め方を教えてくれたので、助かりました。アルバイトを通じて挨拶や返事がとても大事だと教わりました。(1年D組)

クリスマスや大晦日に合わせてオードブルを作ったり、お寿司のセットを作ったりしました。見た目がきれいになるように丁寧にそして早く並べていくのがとても大変でした。社員の方は明るく、仕事も優しく教えて下さり、助かりました。(1年D組)

実際に働いてみて、働くことの大変さや厳しさを知りました。反省点は、私の行動が遅いために皆さんに迷惑をかけてしまったことです。小さな失敗が大きな失敗につながるということを学びました。職場の皆さんはそんな私を励ましてくれました。私は、職場でのコミュニケーションも大事だと学びました。この機会に学んだことをこれからの生活に生かしていきたいです。(1年C組)

アルバイトを通して、就業場所の一員として働くという責任感を学びました。また、お客様が直接消費するので、商品に間違いがないか、数は合っているかなどの事前確認をしっかり行うことの大切さがわかりました。(2年A組)

初めてアルバイトを経験し、普段スーパーで並んでいる食材が多くの人の手間がかかっているのだと気づかされました。早い時間から寒い中で働き続ける社員の姿を見て、誰かのために働くのは、素晴らしいことだと感じました。私も人の力になれる仕事に就いて、精いっぱい働きたいと思いました。(2年D組)

第28回 岩手県高等学校かるた新春大会

1月14日(土)、奥州市総合福祉センターにおいて、第28回岩手県高等学校かるた新春大会が開催され、本校からは文芸部の7名が出場し、1年D組の濱田杏恩(はまだあのん)さんが7位に入賞しました。

凜とした空気の中で、耳を澄まし、神経を集中させて競技に挑む姿に凛々しさを感じました。



1/16(月) 3年生 スケート授業(体育)

1月16日(月)、花巻市石鳥谷アイスアリーナにおいて、3年生のスケート授業(体育)を実施しました。

地元のスケート場をお借りし、冬のスポーツを体験することができました。コロナ禍で昨年度までは実施できませんでしたが、今年度は実施することができました。このスケート授業も本校の特色化・魅力化の一つとして実施しております。来月は、1、2年生が実施予定です。

